

第1回かほく市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議

議 事 概 要

日 時：令和6年10月31日（木）16:07～16:55
場 所：かほく市役所2階 議会会議室

1. 開会
2. 推進会議委員委嘱状交付
3. 会長、副会長の選出
4. 議事
 - ①令和5年度かほく市創生総合戦略推進計画事業の評価等について
 - ②かほく市デジタル田園都市構想総合戦略策定の進め方と策定スケジュールについて
 - ③意見交換
5. 事務連絡
6. 閉会

委 員 名 簿				
整理 番号	選出組織・団体	職	氏名	出欠
1	かほく市商工会	会長	南 春夫	出
2	石川かほく農業協同組合	代表理事専務	村井 一宏	出
3	石川県立看護大学	教授兼附属図書館長 DX推進委員会委員長	小林 宏光	出
4	金沢学院大学附属高等学校	副校長	谷内 正樹	出
5	かほく市町会区長会連合会	会長	西田 省三	出
6	かほく市女性協議会	会長	松村 千恵	出
7	株式会社 北國銀行	公務部部長	山田 泰輔	出
8	金沢公共職業安定所	所長	佐々木 利弘	出
9	株式会社 P F U	取締役常務執行役員 地域貢献部部長	宮内 康範 松田 千穂	欠 代理
10	かほく市社会福祉協議会	常務理事	越井 謙一	出
11	かほく市	副市長	竹本 重久	出

議 事 概 要

○各委員、●かほく市事務局

1. 開会

2. 推進会議委員委嘱状交付

3. 会長、副会長の選出

【会長選出】

- ・事務局から総合計画との整合性を図る観点から、総合計画審議会会長の小林宏光委員を推薦した。
- ・他の委員から異議が無かったため、会長に小林委員を選出した。

【副会長選出】

- ・事務局から、副会長は会長の指名である旨を説明した。
- ・小林会長が南委員を副会長に指名した。

4. 議事

○令和5年度かほく市創生総合戦略推進計画事業の評価等について

- ・事務局より、令和5年度かほく市創生総合戦略推進計画事業の評価等について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委 員)

- ・観光客の685,000人という目標値は高めだったのか、それともなにか要因があって大きく減少したのか。

(事務局)

- ・目標値の685,000人というのは、令和元年度の現況値が635,624人であり、事業を展開していくことで、観光客を増加させたいということで設定した数字となっている。

(委 員)

- ・実績から算出した数字であって、希望的観測のもと設定した数値ではないということは理解した。

(事務局)

- ・また、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大にも大きな影響をうけ、数字が大きく落ち込み、その影響を今も引きずっている状況にあると考えている。

(委 員)

- ・前の質疑と関連するが、目標値の設定により達成度は大きく変わってくると思うが、他の事業も令和元年度の現況値から目標値を算出したのか。

(事務局)

- ・基本的には他の事業も令和元年度の現況値から算出している。

○令和5年度末かほく市人口ビジョンの状況について

- ・事務局より、令和5年度末かほく市人口ビジョンの状況について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

- ・意見なし

○かほく市デジタル田園都市構想総合戦略策定の進め方と策定スケジュールについて

- ・事務局より、かほく市デジタル田園都市構想総合戦略策定の進め方と策定スケジュールについて、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

- ・意見なし

○全体に対する質疑・意見交換等

(委 員)

- ・すばらしい人口増加で、ここはかほく市の特徴的な部分かと思う。魅力ある街だから人口が増えていると思うので、その部分をもっと伸ばしていってほしい。
- ・かほく市は「デジタル人材の育成・確保」は全国的に見ても先進的な取り組みをしており、有識者からも高く評価されている。そのような人材育成があるからこそ、次の働く場として、かほく市へ戻ってくるという事に繋がると思う。また、デジタル人材だけではなく、モノづくり人材の育成ということにも力を入れていきたいと考えている。
- ・会社の社会貢献活動の一環としてイベントを開催し、かほく市や近隣他市の子供たちと活動することがあるが、かほく市の子供たちはすごく伸びやかで、自分で考えて課題解決するという力が身についているように感じる。豊かな環境で育っているからこそ、そのように育っているのではないかしらと思うし、そういった特徴的な面を伸ばしていければいいのではないかと期待している。

(委 員)

- ・かほく市として様々な事業に取り組んでいるが、取り組んだ事業に対する振り返りや意見、感覚などお聞きしたい。今後策定する計画にその感覚を反映できればいいのではないかしら。

(事務局)

- ・総合戦略のK P I の指標の選定や数値の設定は事務局でも、担当課でも苦慮しながら行っているが、やはりそれぞれの取り組みの目的や達成度合いを明確にしなければいけないということで、次期計画のK P I 設定についても、この会議の場で皆様からご意見等をいただきながら検討していきたいと思っているので、ご助言等お願いしたい。

(委 員)

- ・総合戦略と総合計画の見直しの時期ずれを将来的に調整する予定はあるのか。

(事務局)

- ・ご指摘のあった通り、現在総合戦略と総合計画の策定次期には1年のずれがあり、かつ上位計画である総合計画のほうが、総合戦略の1年後に策定されることとなる。今回総合計画と総合戦略は同時並行で策定の作業を行っていくので、なるべく両計画の整合性を図り齟齬がないよう進めていくが、場合によっては総合戦略の方は改定の可能性もあると考えている。また、先般岸田内閣から石破内閣へ変わったことで、国の総合戦略が変わる可能性があり、年内にその方針が示されることがプレス発表されている。発表内容によっては、1月以降に国の新しい方針も取り入れながら市の総合戦略の策定を行う必要がある。このように、市の総合戦略は市の総合計画や国の総合戦略に基づいて改定を必要な範囲で行っていかなくてはいけないので、計画期間を変更するというよりは、都度内容の改定という形で対応していく予定としている。

(委 員)

- ・補足だが、総合計画は10年スパンで区切り、市のこれからの10年を見据えて作るものであるが、時の政権によって、その政権がどのような政策に力を入れるかといことは頻繁に変わる可能性があり、その政策に基づいた事業が市の総合戦略に載っていなければ国から補助金がもらえないという実態もある。行政としては補助金をもらいながら事業を実施するという大原則もあるので、国で大きな改革があった際にはその都度改定して、市の総合戦略を合わせていく必要もあるし、計画は必ず切れ目なく作る必要があるので、できるだけ実態に合わせて都度改定していかざるを得ないということになる。

(委 員)

- ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略と比較して、市の総合戦略はすごく柔らかな表現となっている。基本目標にもデジタル都市構想を意識した内容が入るとよいのではないかと思います。

5. 事務連絡

6. 閉会

- ・南副会長 挨拶

以上